

8-2-2 業界展望を考える若手の会

1. 委員会の開催

若手の会は、全国から20～40代前半のメンバーが主に集まり活動を展開している。今年度は委員公募を行い、令和5年6月より新たなメンバーで始動した。若手の会は、月1回程度の会合とあわせて、他支部の若手組織との連携や業界外の異業種との連携を図っている。今年度は、定例会を8回、イベント3回の開催に加え、令和4年10月に実施した若手の働き方実態調査を踏まえた「建コンで働く若手の本音とアイデア14」を作成した。

2. 実績報告

(1) 建コン WILLSUMMIT (全国交流会)

近畿支部魅力発信委員会と協働で、『建コンの魅力の再認識とその発信』をテーマに、参加者同士が意見を交わし建設コンサルタントの魅力を再認識するとともに、土木分野に関わる現場見学を通して、より効果的な魅力発信アイデアを生み出すことを目的として、全国交流会を開催した。

今回は、関西圏(大阪、兵庫)を開催地とし、基本対面形式(一部Web会議システムを併用)で行い、若手組織代表者62名が参加した。単なる若手のディスカッションで終わらず、土木分野の魅力・大切さを一般の方向け発信している“明石海峡大橋”と阪神淡路大震災を伝える“人と防災未来センター”の見学での気づきを議論に反映することで、アイデアの精度を高めた。

(2) 建コン Assemble the WAKATE (支部交流会)

本部若手の会、各支部若手の会がそれぞれ単独ではなく、互いが協力し合い相互作用で若手の会を組立て、業界を盛り上げていくことを目的に、東北支部若手の会と協働で支部交流会を岩手県盛岡市にて開催した。今回は、令和5年に行われた東北支部若手の会と東北地方整備局若手職員交流会で挙げられた課題に対し、『東北地方の近未来の発展に向けたアイデア』

を出し合うことをテーマとし、東北地方ならではの課題や魅力を感じ取り、近未来の将来像を描くためのディスカッションを行い、交流を深めた。

(3) ベビーマッサージセミナー

乳幼児の育児を行っているママやパパのウェルビーイング向上を目的に、ロイヤルセラピスト協会の講師を迎え、ベビーマッサージの効果や方法を学び、親子で体験するセミナー(Web会議システム併用)を開催した。セミナーには全国から7組(親子合わせて15名)が参加し、参加者に対して、ベビーマッサージによる親子のコミュニケーションから、これまでのセミナーにはないウェルビーイングを感じる気づきを提供した

(4) 建コンで働く若手の本音とアイデア14

令和4年10月に実施した建設コンサルタンツ協会若手の会所属委員(全国各支部の若手組織)を対象とした「コロナ禍を経た若手の働き方実態調査」結果を踏まえ、「建コンで働く若手の本音とアイデア14」を作成した。「残業を減らすために始めた制度のはずが、逆に負担が増え困っている」という若手の声が発端で、管理者側で見えづらい本音や課題、若手が考えている改善アイデアを1冊に取り纏め、建設コンサルタンツ協会ホームページに掲載した。

3. 次年度の活動について

次年度は、若手の課題に寄り添うセミナーの実施、若手の思いを伝えるSNSの活用のほか、業界内外の組織との交流や連携等を図り、「業界活性化の一大ムーブメントを起こす」というミッションに向けて、試行錯誤をさらに進めていきたいと考えている。

(業界展望を考える若手の会委員長
青柳 竜二)